

交通安全情報

令和 8 年 7 月 24 日

第 32 号

静岡県警察本部 交通企画課



熱中症に気をつけて！

身体の異変を感じたら



気温が高くなると、暑さからくる集中力の欠如、疲労などを原因とする交通事故が懸念されます。

また、運転中に熱中症を発症すると重大な事故につながる危険性があります。

体調がすぐれない時には、運転や外出を控えるなど、交通事故防止に努めましょう。



あれっ？何かな？

胸の痛み・頭痛・手足の痺れや不自由・胸焼けのような上腹部の不快感や吐き気など

病気の
前兆かも

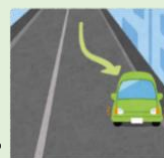
すぐに安全な場所へ車を止めましょう

停車後、サイドブレーキを掛け、ハザードランプを点灯する等の安全措置をとり、事故防止に努めましょう。

症状が改善しない場合は

- ・救急車を呼ぶ
- ・周りの人に助けを求める
(窓を開けて手を振る等)

など、早めの救急対応を取りましょう。



最新情報は環境省のホームページ等を確認して下さい

暑さ指数(WBGT)とは、熱中症に関連する、気温、湿度、日射等の要素を取り入れた指標であり、熱中症予防の目安として用いられています。

暑さ指数
(WBGT)

日常生活における注意事項

暑さ指数 (WBGT)		日常生活における注意事項
31以上	危険	外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
28以上31未満	厳重警戒	外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
25以上28未満	警戒	運動や激しい作業をする際は、定期的に充分に休息を取り入れる。
25未満	注意	一般に危険性は少ないが、激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

お子さまを車内に残して車を離れることは、大変危険な行為です

先日、他県で車内に残された子供が死亡する痛ましい事故も発生しています。子供を車内に残して車から離れる事は、たとえ気温が低い日や短時間であったとしても非常に危険ですので絶対にやめましょう。